



# 急速に広まる SDGs への取り組み

～県内企業アンケート調査～

2023/10/06

全 8 ページ

## Point

---

- 県内企業の SDGs に対する認知度は 9 割を超え、約 3 割が取り組み済
- 認知が進む一方で具体的な取り組みに向けた「人材」「コスト」が課題として浮上
- SDGs 推進は、ビジネスチャンスの拡大や優秀な人材の獲得につながる可能性がある

### 【本件に関するお問い合わせ先】

あおもり創生パートナーズ株式会社  
030-0801 青森県青森市新町 2 丁目 2-7

地域デザイン部 今井 亮平  
E-mail: [ryohei-imai@acp.a-bank.co.jp](mailto:ryohei-imai@acp.a-bank.co.jp)



# 1. 調査の背景

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された国際目標である。2030年までに達成すべき17の目標（ゴール）と169の具体的なターゲット（解決すべき課題）から構成され、「経済成長」「社会的包括」「環境保護」の3要素に焦点を当て、地球上の「誰一人取り残さない」世界の実現を目指している。

SDGsが注目されるようになった当初は、国内では大企業を中心に取り組みが進められていたが、近年は中小企業においてもSDGsへの取り組みが求められるようになってきている。当社が2020年4月に実施したアンケート調査では、SDGsの各目標と自社の事業内容の関連性を中心に、SDGs達成に向けて動き出した状況を確認したが、既に取り組んでいる企業は1割に満たなかった。

本稿では、前回調査を踏まえ、現在の県内企業のSDGsへの取り組み状況および取り組み目的や課題、期待する支援策等について概観する。

## アンケート実施概要

- ◇実施期間：2023年7月下旬～8月上旬
- ◇対象企業：県内企業493社（プロクリアホールディングス実施の「企業業況調査」対象先）
- ◇回収状況：331社（回収率：67.1%）
- ◇回収企業内訳：

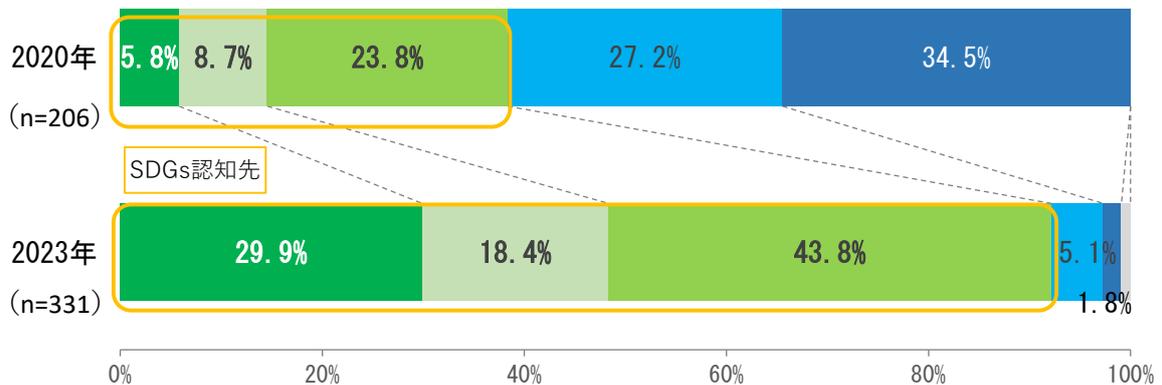
	製造業	建設業	卸売業	小売業	運輸・サービス業	総計
回答企業数(社)	75	73	63	48	72	331
割合	22.7%	22.1%	19.0%	14.5%	21.8%	100.0%

## 2. SDGs への取り組み状況

### ～取り組み済は約 3 割～

- ▶ 「既に取り組んでいる」は 29.9%で前回調査比 24.1 ポイント上昇。
- ▶ SDGs 認知先は、前回調査を大きく上回る 9 割超となり、県内でも SDGs の認知が着実に進んでいる。
- ▶ 「既に取り組んでいる」は製造業を除く業種で 3 割を超える一方、「内容を知っているが、対応していない」は建設業以外で 4 割超と認知は進むものの、具体的な取り組みまで進んでいない現状が伺われる。

図表 1 SDGs への取り組み状況（全体・業種別）



- ①既に取り組んでいる
- ②取り組みを検討している
- ③内容を知っているが、対応していない
- ④聞いたことはあるが、内容は知らない
- ⑤全く知らない
- ⑥その他

	製造業		建設業		卸売業		小売業		運輸・サービス業	
	2020年	2023年	2020年	2023年	2020年	2023年	2020年	2023年	2020年	2023年
①既に取り組んでいる	6.3%	25.3%	4.9%	30.1%	6.5%	33.3%	8.0%	31.3%	4.3%	30.6%
②取り組みを検討している	6.3%	21.3%	9.8%	24.7%	4.3%	12.7%	4.0%	14.6%	17.4%	16.7%
③内容を知っているが、対応していない	22.9%	44.0%	24.4%	38.4%	28.3%	44.4%	28.0%	41.7%	17.4%	50.0%
④聞いたことはあるが、内容は知らない	27.1%	6.7%	19.5%	4.1%	32.6%	4.8%	28.0%	8.3%	28.3%	2.8%
⑤全く知らない	37.5%	1.3%	41.5%	2.7%	28.3%	1.6%	32.0%	4.2%	32.6%	0.0%
⑥その他	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

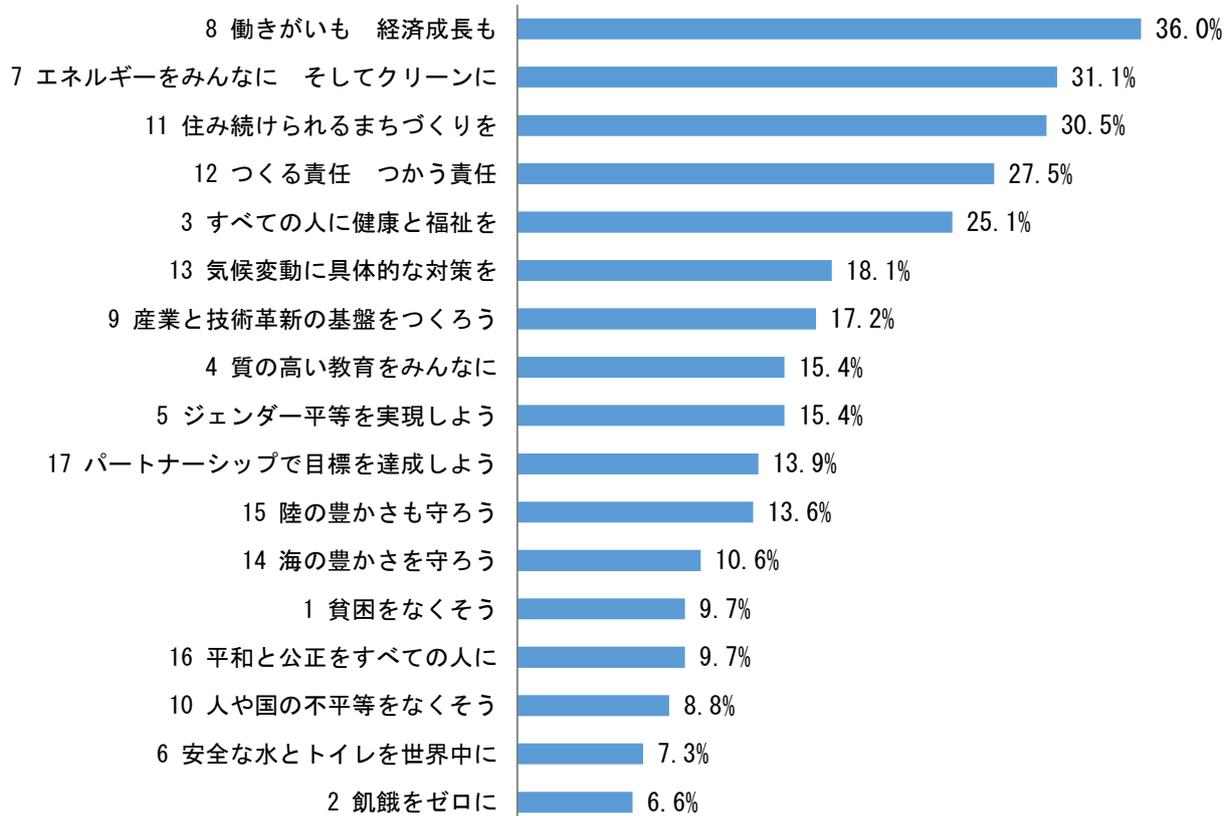


## 3. 17 の目標ごとの取り組み状況

### ～「働きがいも経済成長も」がトップ～

- ▶ 目標ごとの取り組み状況は、「8 働きがいも経済成長も」が 36.0%でトップ。
- ▶ 以下「7 エネルギー」「11 まちづくり」「12 つくる責任」など事業活動の中で日常的に取り組みやすい目標から着手する傾向がみられた。
- ▶ 業種別でも取り組み上位 3 項目は概ね共通していた。

図表 2 取り組んでいる SDGs の目標（複数回答）

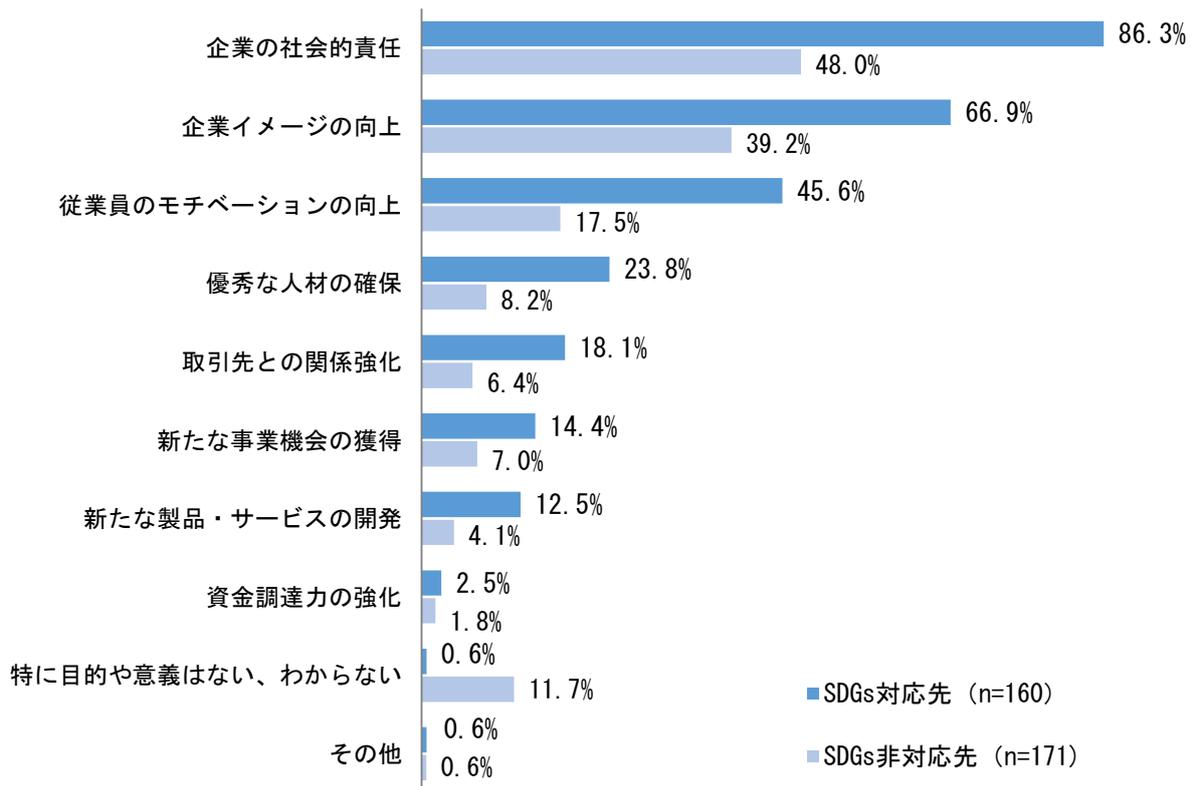


## 4. SDGs に取り組む目的・意義

### ～対応先・非対応先で意識の差～

- ▶ SDGs 対応先は、「企業の社会的責任」が 86.3% で最も高く、以下「企業イメージの向上」「従業員のモチベーション向上」が続いている。
- ▶ SDGs 非対応先においても、取り組みの目的・意義は対応先と概ね同様の傾向にあるが、特に上位項目の回答割合が対応先を大きく下回っている。
- ▶ また、非対応先の中には、SDGs の目的・意義を見出せないとする企業も 1 割程度存在し、対応先との意識の差が鮮明に表れる結果となった。

図表 3 SDGs に取り組む目的・意義（複数回答）



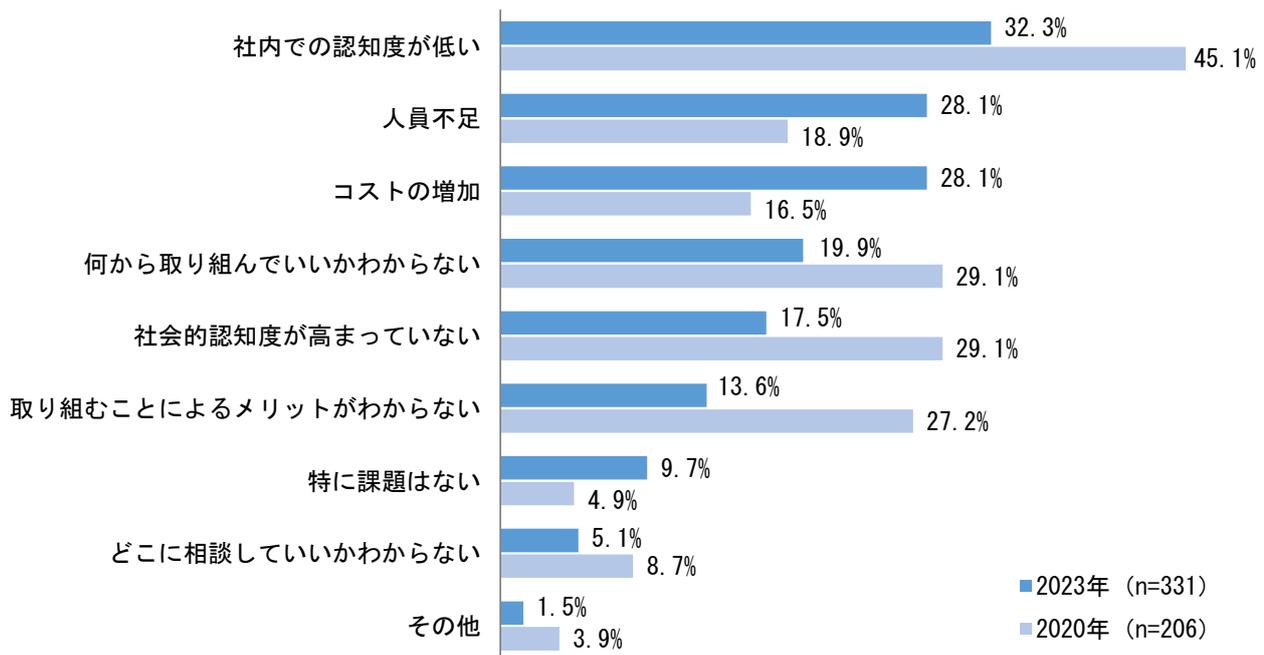


## 5. SDGs に取り組む上での課題

### ～社内認知度・人員・コストが課題～

- ▶ SDGs の取り組み上の課題は、「社内での認知度が低い」が 32.3% で最も高く、次いで「人員不足」(28.1%)、「コストの増加」(28.1%) となった。
- ▶ 社会的認知度や取り組みメリットなど認知に関する課題は大きく低下しており、県内でも SDGs への認知は確実に高まっていることがわかる。
- ▶ 一方、認知が進み、実行フェーズへ移行したことで前回中位だった「人員不足」「コストの増加」など「人」「コスト」に関する課題が顕在化している。

図表 4 SDGs に取り組む上での課題（複数回答）

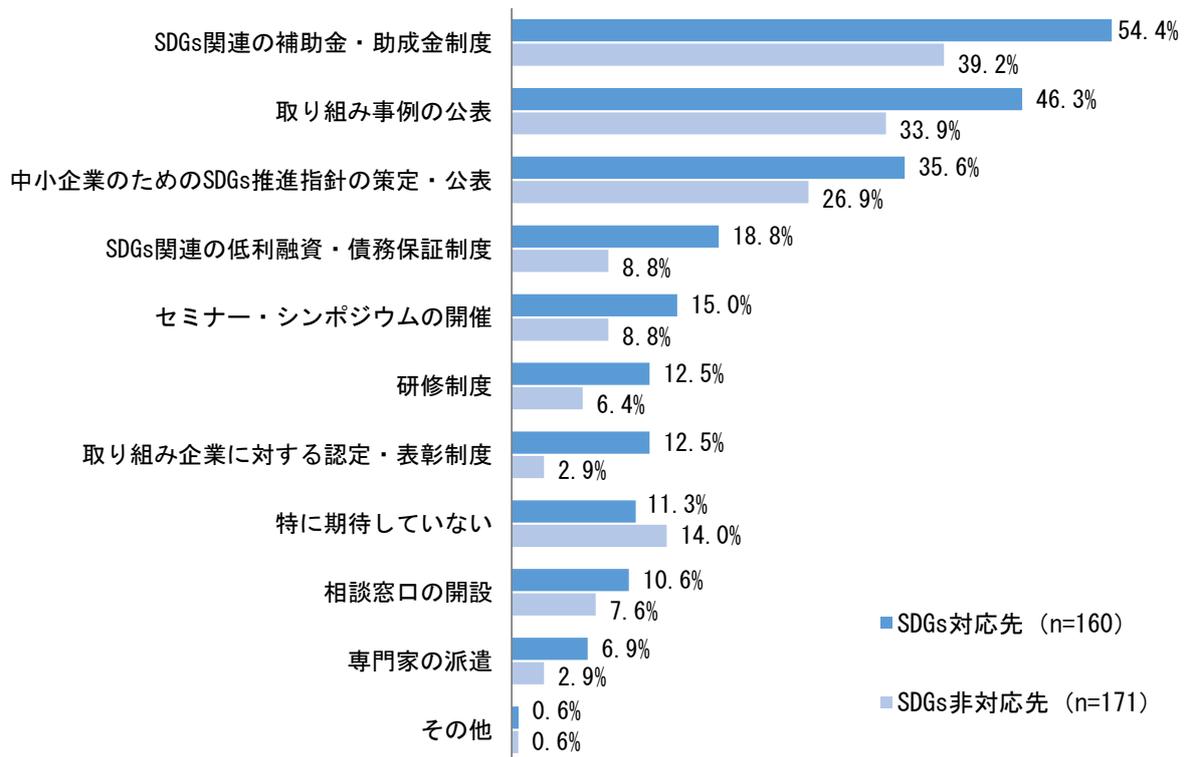


## 6. SDGs 推進に向けて期待する支援策

### ～補助金・助成金が最多～

- ▶ 期待する支援策は、対応先・非対応先ともに「補助金・助成金」がトップで、以下「事例の公表」「推進指針の策定・公表」などが続いている。
- ▶ 背景には、課題である「コスト」や推進上の拠り所となる事例や指針に対する期待が高いものと推察される。
- ▶ 県内における支援策としては、「青森県 SDGs 取組宣言登録制度」や金融機関による取組評価サービスなどがあり、活用する企業が増加傾向にある。

図表5 SDGs 推進に向けて期待する支援策（複数回答）



## 7. まとめ

### ～SDGs 取り組み強化でビジネスチャンス～

- ▶ 2020年の調査に比べ、県内企業のSDGsに対する認知は9割を超えており、取り組みを進める企業も大幅に増加している。
- ▶ SDGsの取り組み目的・意義としては、企業イメージの向上など対外的な理由に加え、従業員のモチベーション向上や人材確保を目的とする傾向が見られた。
- ▶ 課題としては、今回はSDGsの認知・理解に関するものが上位を占めたが、認知が進み、具体的な取り組みに向けた「人」「コスト」に関する課題感が強まっている。
- ▶ SDGs推進に向けては補助金等の資金面の支援策を期待する声が多い。
- ▶ 県内企業においてもSDGsは着実に普及しつつあるが、SDGs対応先と非対応先との取り組み意識の差は依然大きい。

地球温暖化による異常気象や激甚災害の増加、コロナ禍による働き方などの労働環境の変化、社会のデジタル化、ジェンダーレスの広がりなど、目に見える形で社会・経済環境は変化している。SDGsの目標はこうした潮流を捉えたもので、目標達成に向けた取り組みは待ったなしの状況だ。

SDGsへの取り組みは、もはやビジネススタンダードとなりつつある。SDGs推進に取り組み、その活動を積極的に発信していくことは、新たなビジネスチャンスを広げるとともに、SDGsに関心を持つ優秀な人材の獲得にもつながり、企業の更なる成長を促す可能性を秘めている。SDGsを目先のコスト増や負担増などとネガティブに捉えるのではなく、大きなチャンスとしてポジティブに捉え、既に取り組んでいる企業はその取り組みをさらに推進するとともに、取り組みに二の足を踏む企業には、とにかくはじめの一步を踏み出してもらいたい。

「誰一人取り残さない」をコンセプトとするSDGs、自らが取り残されないためにもSDGsへの歩みを着実に進めていかなければならない。

以上